

What's 『SUKOMACHI』 ?

NPO 健やかまちづくり
について①

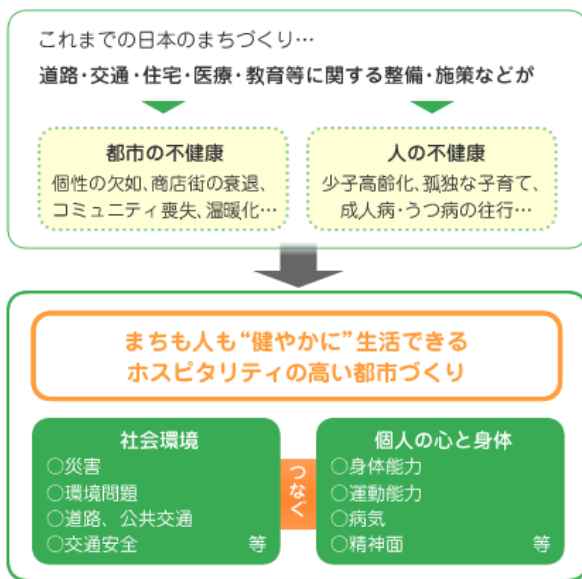


NPO法人概要

わたしたちが考える「健やかさ」とは、個人の心や身体の健康に留まらず、それらに大きな影響をもたらす社会環境も含めた健康を意味します。NPO 法人健やかまちづくりは、人もまちも健康になるために、個人や社会環境の問題を改善し、活力を高める活動を行う団体です。

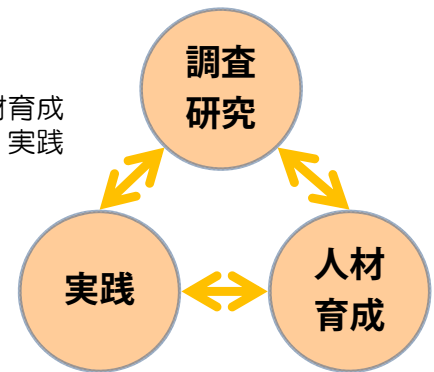


目的・背景・理念



基本方針

- ①わが国の健康を取り戻すために活動を行う
—対象範囲→人、まち、コミュニティ
- ②具体の取り組み
—人づくり
—まちづくり
- ③そのために必要な
—調査・研究活動
—行政・市民等の人材育成
—様々な知見の実施・実践



理事・監事の紹介

理事長



秋山 哲男（あきやま てつお）
北星学園大学 客員教授
北星学園大学客員教授、早稲田大学・東洋大学等の非常勤講師、工学博士（東京大学）。作品は羽田・千歳国際ターミナルのユニバーサルデザインの設計、著書は「生活支援の地域公共交通／2009年3月」である。

理事



酒向 正春（さこう まさはる）
デンマーク国立オーフス大学&コペンハーゲン大学
脳神経病態生理学研究所客員教授
1987年、脳卒中治療を専門とする脳神経外科医となる。2003年、デンマーク国立オーフス大学での北欧生活を基に、超高齢化社会を見据えた健康医療福祉都市構想を提唱。2004年より人間回復を目指した「闘うリハビリ」を実践。



藤井 直人（ふじい なおと）
神奈川県立大学保健福祉大学 非常勤講師
リハビリテーション工学研究者として「移乗介助器・入浴装置の開発」「リフト付き路線バスの開発」「路線バス用車いす固定装置の開発」等、障害を持った人たちの自立生活から社会参加まで工学技術で支援する研究を行ってきた。



山中 英生（やまなか ひでお）
徳島大学大学院リソテクノサイエンス研究部 工学部建設工学科 教授 徳島大学
地域連携推進室長 地域創生センター副センター長
都市交通計画分野から、我が国初のコミュニティ道路の設計に関わる。パッケージアプローチによる都市交通戦略、自転車の交通計画や交通安全のためのITS等を専門。参加型まちづくりや合意形成支援の分野でも研究や社会活動に携わる。



松原 淳（まつばら あつし）
技術士
バリアフリー、ユニバーサルデザイン、交通、道路、まちづくり、自転車などに携わってきたが、自身が、麻痺が残る大病を患い、復活後は身をもって健やかとは何かを問い続ける。事件は現場からが持論。

監事



江藤 和昭（えとう かずあき）
株式会社オリエンタルコンサルタンツ 東北支店長
主に交通工学・交通計画、情報提供、道路管理の高度化やITSに関する業務に携わる。少子高齢化が進み、車社会も大きく変化中、時代のニーズに対応した新たな国土づくり、地域づくりに少しでも貢献したいと考えている。

活動内容



「健やかなまち」について調査・研究します

“健やかさ”とは？

住民の笑顔、まちの活気・・・漠然と浮かびますが、具体的には？

私達は、これまで公共事業との関係が希薄であった医療・福祉分野の視点も入れ、新たな研究フィールドを構築、提言します。

- 都心～地方まで様々なまちを対象とし、“健やかなまち”を評価する指標を打出します。
- 既存の研究分野・手法にとらわれず幅広く研究を展開します。
- 成果を土木、医療等の行政、民間へと幅広く発信します。



「健やかなまちづくり」を実践します

“健やかなまち”には何が必要？

まちにどのような機能、しかけがあるといいのでしょうか？

私達は、実際のまちを対象に“健やか”指標向上に必要な施策を検討し、具体化に向けた設計や企画立案を行います。

- 参考事例のキーパーソンを招く勉強会を開催することで、“健やかなまち”に必要な機能、しかけを評価・分析します。
- 実際のまちの“健やかさ”を診断し必要な施策を検討します。
- ハード整備の設計や、ソフト施策の企画や運営を行います。



「健やかなまちづくり」に関する人を育てます

“健やかなまちづくり”の専門家とは？

必要なスキル、ノウハウとして何が求められるのでしょうか？

研究や実践の成果として得られたスキル、ノウハウを広く発信し、私達とともに、健やかまちづくりを推進する人を育てます。

- 研究成果を様々な分野の学会や講演会等で発表します。
- 収集した事例や活動成果を書籍化し出版していきます。
- ワークショップや勉強会、研修等のイベントを企画・開催し、スキル・ノウハウを身につける場を提供します。